

Adobe Illustrator から刺繍ファイルを書き出す方法

1.Illustrator のデータを用意

アンカーポイントがミシン針が落ちる点になります。

曲線は評価しません。何らかの方法で曲線を直線の連続に変換する必要があります。

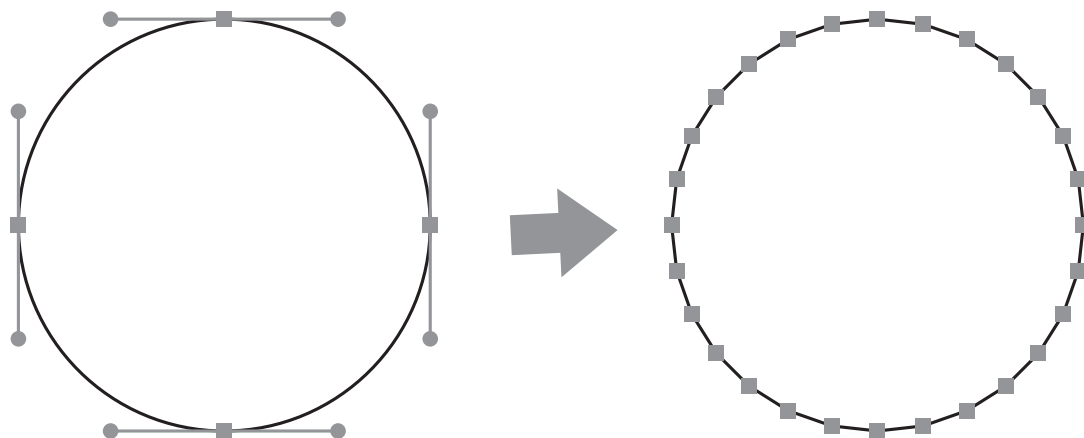
1つのオブジェクトが1回(1色)分の刺繍になります。

グループ、複合パスは全て解除する。

フィルターなどがかかっている場合はアピアランスを分割しておく。

クリッピングマスクは解除しておく。

ベジエ曲線の直線化



効果 > パスの変形 > ラフ

オブジェクト > アピアランス分割

(サイズ 0/ 詳細 :5)

2. 刺繍ファイル (.dst) を書き出し

オブジェクトを選択した状態で

ファイル>スクリプト>その他のスクリプト…

を選び ExportDST.jsx を選択します。

(ここでエラーが出る場合はグループ、複合パスの解除、アピアランス分割されているか確認)

保存ダイアログが出ますので場所と名前を指定して任意の場所に保存。(拡張子 .dst)

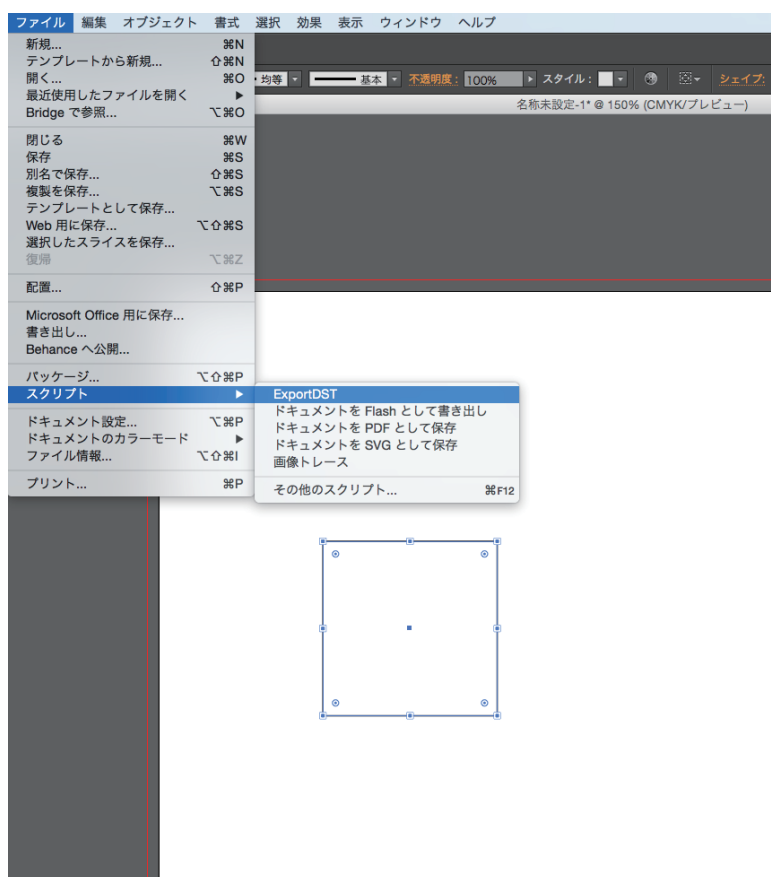
スクリプトを繰り返す場合以下フォルダに格納するとメニューから使用できます。

Mac(Illustrator CC 2014 で検証)

/アプリケーション/[Illustrator のフォルダ]/プリセット (もしくは Presets)/ja_JP/スクリプト/

Windows(未検証)

C:\Program Files\Illustrator のフォルダ ¥jaJP¥ プリセット (もしくは Presets)¥ スクリプト ¥

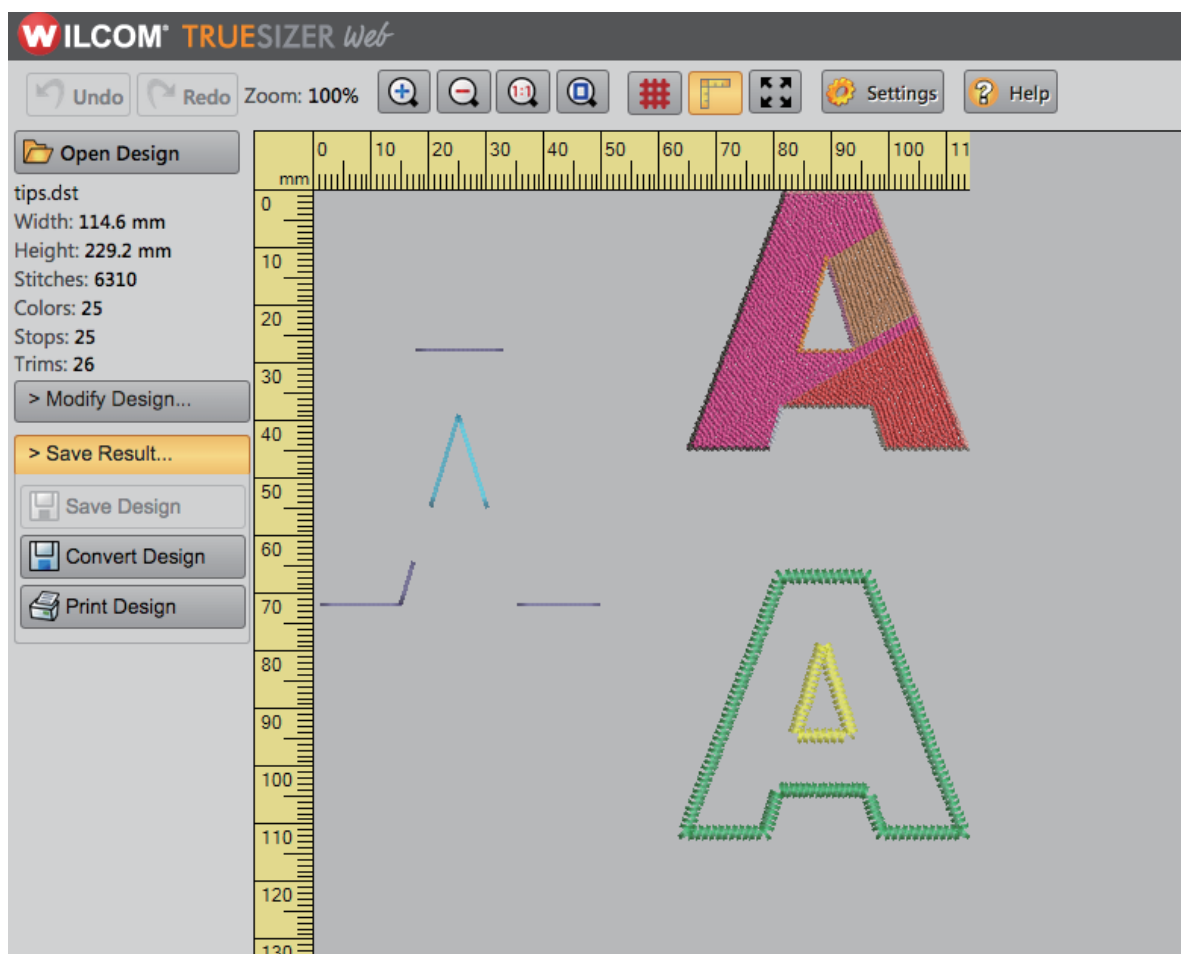


3. 刺繍ファイルのコンバート

書きだされたファイルは Tajima のミシン用のフォーマットです。

ミシンに合わせたデータ形式に変換するため Wilcom True Sizer を使用します。

ユーザー登録が必要ですがブラウザ版、デスクトップ版 (Win のみ) が無料で使用でき、刺繍のサイズ、ファイル形式を変更して保存することが可能です。



例 .Brother のミシンの場合

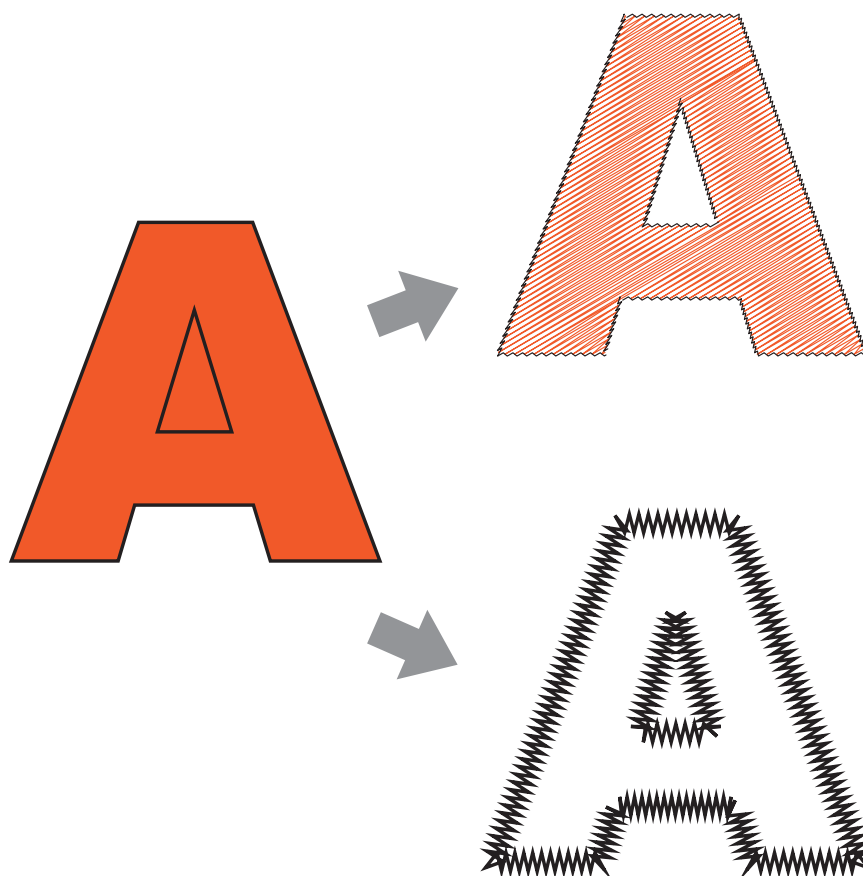
Convert Design > This Computer > Format(.PES) > Save

4. ミシンヘデータを転送→刺繍開始

ミシンのメーカー、機種によってさまざまですが例として Brother SOLEIL 120E の場合
3 で書きだした PES ファイルを USB メモリにコピーして本体に差し込む。

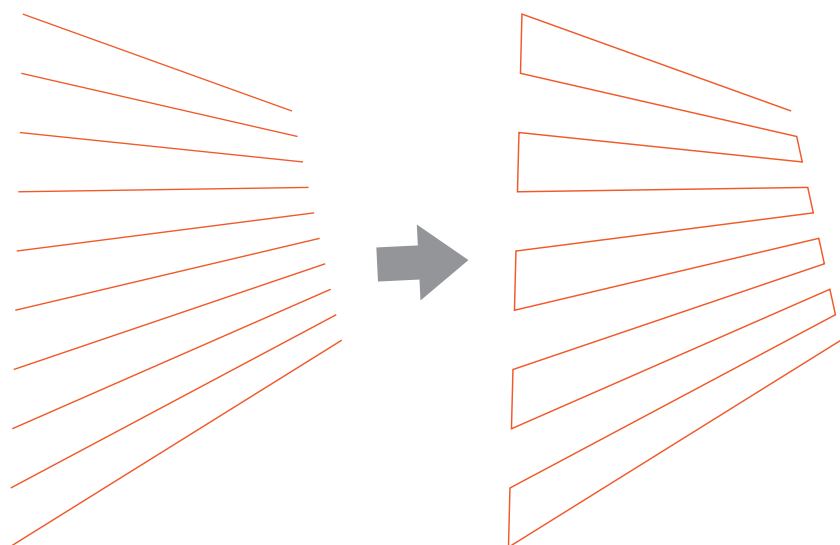
(その後はミシン説明書参照)

Tips



効果>スタイライズ>落書き
オブジェクト>アピアランス分割
効果>パスの変形>ラフ
オブジェクト>アピアランス分割
グループ解除

効果>パスの変形>ラフ
オブジェクト>アピアランス分割
効果>パスの変形>ジグザグ
オブジェクト>アピアランス分割
グループ解除



複数のオブジェクトは連結させておくと
連続して順番にプロットされます。